EL2600 型圧力トランスミッター

取扱説明書

spirax sarco

ET-394
2008/8

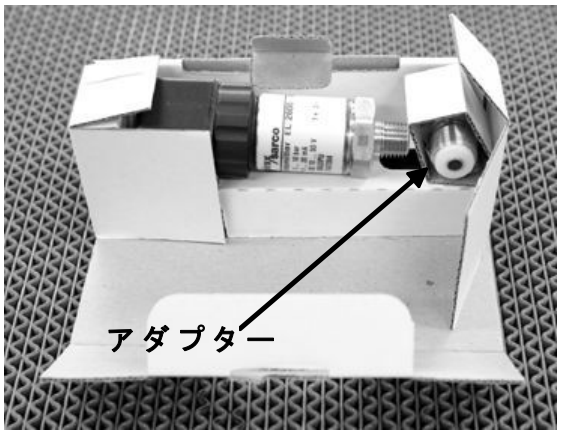
spirax sarco

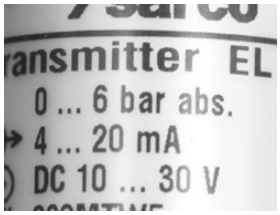
始めに

この度は、EL2600 型圧力トランスミッターをご購入いただきありがとうございました。この取扱説明書の記載内容を確認いただいた上で、据え付けていただくようお願い申し上げます。

１．梱包箱の内容と仕様の確認

EL2600 型圧力トランスミッターの梱包箱の中には、写真のように圧力計用のコックのねじに合うように作られたアダプターが入っています。





圧力レンジの確認をして下さい。
左側は０～10barG(0.00～1.00MPaG)、
右側は０～6barA(-0.10～0.50MPaG)となります。
絶対圧基準の場合「abs」が追記されます。

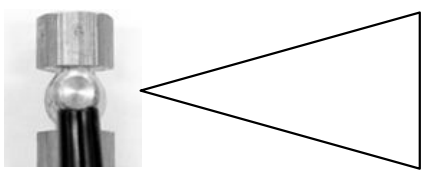
２．取り付け要領

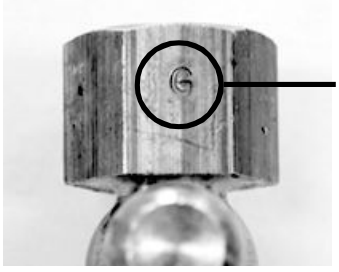
EL2600 型圧力トランスミッターの圧力感知部分の最高許容温度は80℃となっています。したがって、蒸気の圧力を検知する際には、必ずサイホン管を使って、蒸気が直接圧力感知部分に触れないようにして下さい。

8A PT ねじ

10A PF ねじ
コックのＧマーク側に接続します。
セロテープを取り除き、付属のテフロン・パッキンをシールとして使って下さい。

サイホン用
コック





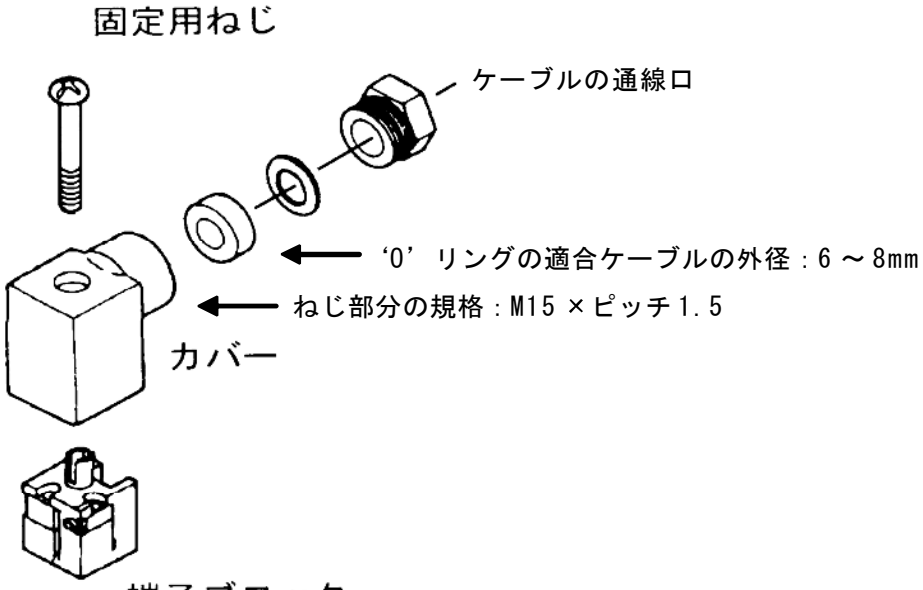
ゲージ側を
示すＧマーク

spirax sarco

２．結線要領

２－１．端子台へのアクセス方法

固定用ねじを緩めながら、カバー部分を持ち上げると、端子ブロック部分だけが本体から外れます。端子ブロックを外した後で、固定用ねじを抜き、カバーから端子ブロックを外すと、端子台にアクセスできます。



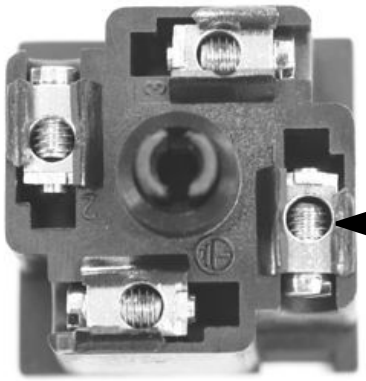
固定用ねじを外してから、調整用マイナス・ドライバーなどを使って、この切り込みを使ってこじ開けるようにして下さい。

「アース」端子のみ形状が異なります。

「3」端子

「2」端子（－側）

先端がマイナスで、幅が3mm 程度の調整ドライバーで、端子を締め込むようにして下さい。



ねじを緩めてから、この穴に線の先端を入れ、ねじを締め込んで、しっかりと固定して下さい。

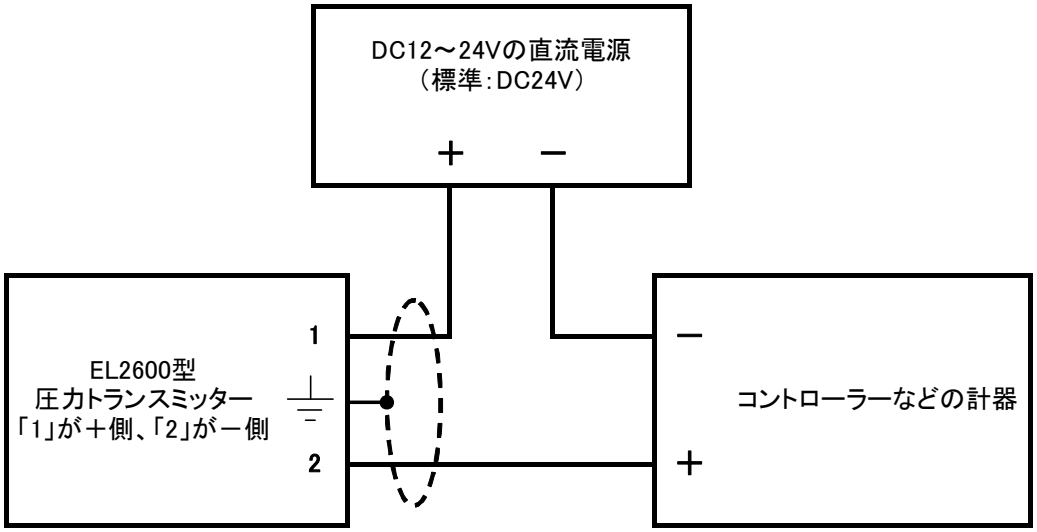
「1」端子（＋側）

「アース」端子

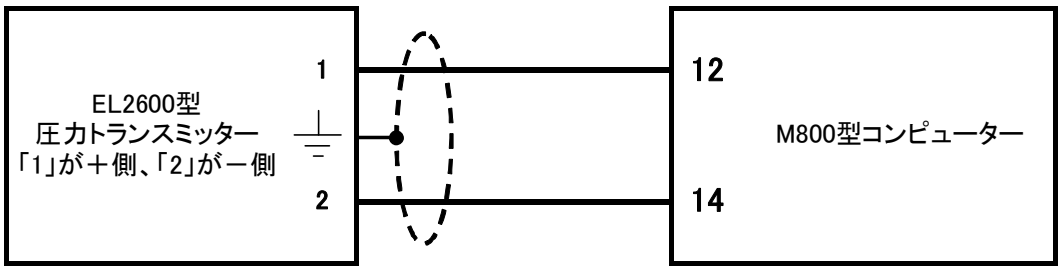
２－２．結線内容

下図を参照いただき、プラスとマイナスを間違えないように結線して下さい。

＊圧力制御用として使用し、コントローラーに結線する場合



＊流量計用としてＭ８００型コンピューターに結線する場合



＊推奨ケーブル

特に指定はありませんが、計装用ケーブルをご使用下さい。VCTF（汎用丸形ビニール・キャップタイヤケーブル）相当以上であれば、問題ありません。

・ケーブルの太さ：0.5～1.25mm^2

・ケーブルの外観：コネクタ形状の関係で丸形ケーブルを推奨します。

＊シールド線を使われる場合

ノイズの影響が懸念される場合には、シールド線を使うことをお勧めします。その際には、シールド線をトランスミッターのアース端子に接続して下さい。

＊ノイズ対策

DC4～20mAの信号ラインがノイズの影響を受けると、正確な圧力計測の妨げになります。付近にインバーター等のノイズ源がある場合には、極力ケーブルを離すようにして下さい。また、同じラックに乗せたり、同じ電線管に入れるなどの施工は行わないで下さい。

金属製の電線管に入れることも、ノイズ対策の有効な手段となります。

３．調整方法

EL2600 型圧力トランスミッターを ILVA 型流量計の差圧配管に取り付けた時に、差圧感知口より下側にある場合、その落差分の水頭圧が掛かることになります。この水頭圧が大きい場合には、蒸気の圧力がその分高くなり、正確な流量計測の妨げになります。
このような場合に備えて、以下のようにゼロ点を調整できるようになっています。

＊圧力信号を送りながら、内部のボリュームを調整するために仮繋ぎ状態にします。

＜幅が１～1.5mm の精密ドライバーを使って下さい。＞

＊重要

- **ゼロ点調整用ボリュームを反時計方向に回すと信号が減少し、時計方向に回すと増加しますので、信号レベルを確認しながら調整して下さい。**
- **スパン調整用ボリュームは、絶対に回さないで下さい。**
- **内部に水などの異物は浸入するのを防止するために、粘性の透明なシール剤が塗布されていますので、違和感があるかもしれませんが、気にせずにドバイバーを突っ込んで回して下さい。**

spirax sarco

蒸気・温水エンジニアリングのパートナー

スパイラックス・サーコ株式会社

東京支店	〒261-0025 千葉市美浜区浜田2-37	TEL：043-274-4811	FAX：043-274-4818
札幌営業所	〒003-0807 札幌市白石区菊水7条2-7-1 札幌流通倉庫東ビル4F	TEL：011-221-0316	FAX：011-221-0320
仙台営業所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-6-30 第6税経ビル	TEL：022-296-7671	FAX：022-296-7674
静岡営業所	〒422-8064 静岡市駿河区新川2-1-40 新川ビル40A	TEL：054-654-2761	FAX：054-654-2762
名古屋営業所	〒460-0026 名古屋市中村区太閤通8-9 太閤通マンション1F	TEL：052-481-1290	FAX：052-481-1299
大阪営業所	〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋2-11-8 北加賀屋千鳥ビル203号	TEL：06-6647-7231	FAX：06-6647-7232
姫路営業所	〒670-0965 姫路市東延末1-5 姫路駅南タイホービル	TEL：079-288-8761	FAX：079-288-8765
岡山営業所	〒712-8061 倉敷市神田１丁目11-34	TEL：086-446-7901	FAX：086-446-7902
福岡営業所	〒813-0034 福岡市東区多の津4-9-10 奥田ビル	TEL：092-623-5900	FAX：092-623-5868